

第45回

名古屋大学附属図書館友の会 トークサロン

ふみよむゆるべ



参加無料
申込不要
会員以外の方も
歓迎します



平成31年2月18日(月)午後6時～

名古屋大学中央図書館 2階ディスカバリスクエア

「ロマノフ家にこそ皇帝(ツァーリ)の資格あり

— 16世紀末ロシアの皇統断絶時に現れた諸文書を中心に —

かたり: **宮野 裕 氏**(岐阜聖徳学園大学准教授)

モスクワのリューリク家が16世紀末に断絶したロシアでは、15年の時を経て1613年にロマノフ家が帝位を受け継ぐことになった。しかし、この15年の間には、数々の人々が皇帝(ツァーリ)の位を狙い、実際に廃位と就位が繰り返された。旧皇帝家との血縁を持たない彼らは、自らの皇帝の位を正当化するために多くの策を打ったが、なかでもそれぞれが帝位を正当化するプロパガンダ文書を作成し、民に示したことが知られる。最終的に帝位をその後長く保持することになるロマノフ家さえ、例外ではなかった。

帝位継承の絶対的な正当性が存在しないなかで、彼らはどのように帝位を根拠づけたのか。伝来する数多くの文書を読み解きながら、当時のロシア社会についても考えたい。

名古屋大学附属図書館友の会

TEL 052-789-3684

FAX 052-789-3694

E-Mail tomo@nul.nagoya-u.ac.jp

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/>

後援 名古屋大学附属図書館、
同研究開発室

